もりもと技術研究所

m- mk01x-R8-140329

携帯式薪コンロ　取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。誤った使用の場合、使用者本人および周辺の方々が死に至る事故の原因となることがあります。

部品リスト

コンロ本体	×1	上蓋	×1
焚き口	×1	横蓋(穴なし)	×1
横蓋(穴あり)	×1	ゴトク	×2

ご使用の前にこの取扱説明書に記載されている使用方法、注意事項をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
誤った使用の場合、資産損失・損傷、使用者本人および周囲の方々が死に至る事故の原因となる恐れがあります。

危険
取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う、
差し迫った危険が発生する場合があります。

一酸化炭素の危険性

■ 本製品は風通しの良い屋外で使用して下さい。
テント内、車内、室内など換気ができない場所では絶対に使用しないで下さい。
燃焼によって一酸化炭素が排出され、一酸化炭素の吸入により、死亡または脳障害を引き起こす可能性があります。

爆発・火災の危険性

■ 本製品は、木材や松かさなどを燃焼するように設計されています。
液体燃料、ジェル、プラスチックやその他の燃焼促進剤は絶対コンロ内に入れないで下さい。
■ 使用中は非常に高温になり、近くに可燃物があると、引火する可能性があります。可燃物は製品から、半径 50 ㎝以上、上に 120 ㎝以上離して下さい。
■ 枯草や枯葉など燃えやすいものの上で使用すると、燃え移り火災に至る可能性があります。土の上など必ず燃えないものの上でご使用下さい。
■ 本製品はガソリンやその他可燃性の液体や可燃性ガスから遠く離れた場所でご使用下さい。
また、燃焼室内にヤニが溜まったり、ヤニに引火しないように使用後は毎回燃焼室の掃除をして下さい。
■ コンロを使用している間は近くに消火用の水を準備し、絶対に側を離れないで下さい。

やけどの危険性

■ ストーブの使用中、または使用直後は表面が高温になり、触るとやけどの恐れがあります。
■ コンロを触る際は必ず厚手の皮手袋を使用して下さい。皮手袋を使用していても、連続して長時間触れることは避けて下さい。
■ 絶対に、化学繊維製・ゴム製・滑り止めの付いた手袋は使用しないで下さい。熱により穴が開いたり燃えたりし、やけどの原因となります。
■ 炎が大きくなることがありますので、コンロを使用している間は絶対に側を離れないで下さい。
また、使用中は極力コンロを動かさないで下さい。
■ 子供の手が届かないところで、使用・保管して下さい。
■ 必ず水平で安定するところで使用して下さい。また、不安定な設置状態での使用はしないで下さい。

異常が見られた場合は使用を中止して下さい

■ 異臭、変色、変形などの異常が見られた場合は直ちに使用を中止して下さい。故障、発火、火災などの原因となる場合があります。

警告
取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

■ ご使用前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないことを確認して下さい。
また、乾いた草の上など延焼の危険がある場所では使用しないで下さい。
■ 強風下では使用しないで下さい。
また、使用中に風が強くなった場合は直ちに消火し、使用を中止して下さい。
■ 使用中や使用後は本体が非常に高温になるので注意して下さい。
また、周囲の状況に注意し、お子様が近づかないようにして下さい。

注意
取扱を誤った場合、人が重傷を負う、または物的損害の可能性があります。

■ 本体を収納する際は十分に温度が下がっていることを確認して収納して下さい。
また、緊急時以外は本体に水をかけたりしないで下さい。急激に温度が変化し、本体の破損・変形の原因になります。
■ 設置や収納は必ず両手で行って下さい。乱暴な取り扱いはケガや本体の破損の原因となります。
■ 使用により変色やひずみが発生する事がありますが、使用に支障はありません。
■ 本体にサビが発生することがありますが、使用に支障はありません。

□ **公園や河川敷などの高境地やキャンプ場などの管理地で使用する場合は各自治体や管理者に確認して使用して下さい。**
□ **焚き火や火気類の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないで下さい。**
□ **廃棄物は絶対に燃焼させないで下さい。**

メンテナンス

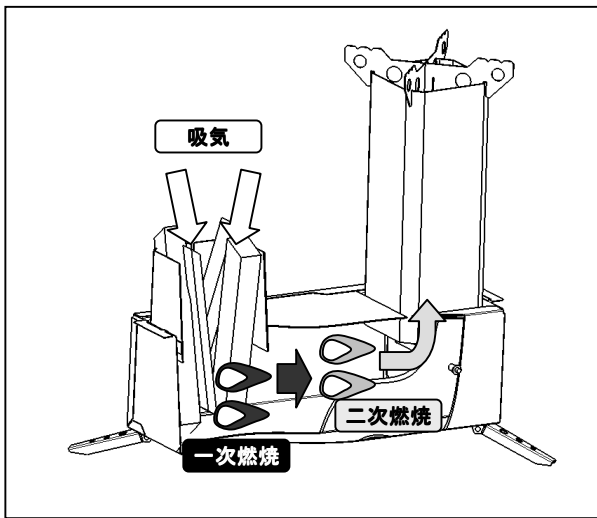
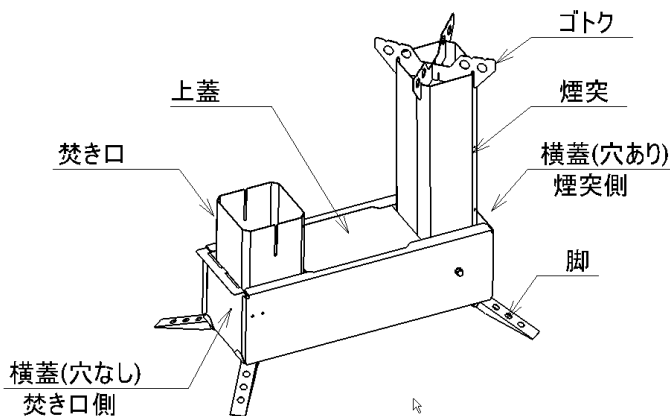
■ 灰を取り除き、必要に応じてナイロンブラシなどでこすり洗いして下さい。

保管

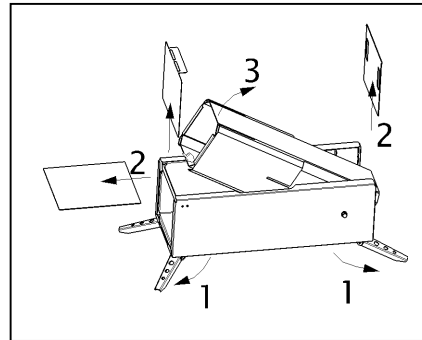
■ 本製品は風通しの良い、涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
■ 子供の手のとどかないところに保管して下さい。

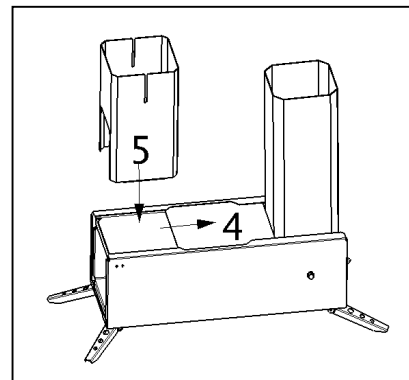
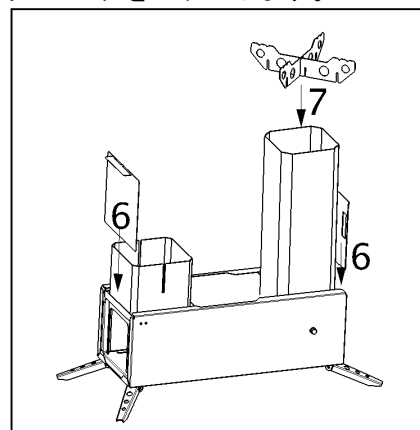
薪コンロの仕組み

・上昇気流を使って高効率燃焼を実現

薪や枝などの燃料が燃え、燃焼ガスが煙突に達すると、熱いガスは上昇気流となって勢い良くコンロの外に排出されます。
すると、排出した空気をどこからか補給しないといけないため、新しい空気がもう１つの穴。つまり、焚き口から流れ込んできます。
このように焚き口の燃料は、常に新しい空気が供給され続けるため、強力に燃焼します。
また、焚き口の下流は上蓋を除き、断熱構造となっているため、燃焼ガスの温度が低下せず、煙が燃える二次燃焼が起こります。
常に新しい空気を供給する吸気システムと、二次燃焼により、コンパクトなボディと、強力な火力という相反する強みを実現しました。

各部の名称

部品リスト	
コンロ本体×1	上蓋　×1
焚き口　×1	横蓋(穴なし)×1
横蓋(穴あり)×1	ゴトク　×2

セットアップ方法

①4 本の脚を完全に開きます。
②上蓋、横蓋を取り外します。
　煙突の内のゴトクを取り出します。
③煙突を引き出します。

⚠ コンロを触る際は必ず**厚手の皮手袋を**ご使用下さい。本体の熱でやけどをしたり、角で手を怪我する恐れがあります。

④煙突を完全に立てた後、上蓋を戻します。
⑤上蓋と本体の隙間に焚き口を差込みます。

⑥取っ手が外を向くようにして、横蓋を戻します。
⑦煙突にゴトクをセットします。

⑧周りに可燃物がなく、水平で安定する場所にコンロを設置して下さい。

 周りに乾燥した芝や木の葉などがある場合は、燃え移らないように 取り除いて下さい。
また、万が一の場合に備え、近くに水を用意し、すぐに消火できるようにして下さい。

着火方法

 以下の「燃料」とは、木材や松かさ等を指しています。ガソリンなどの液体の燃料や石炭などの燃料や炭、オガライトは絶対に使用しないで下さい。

ワンポイント！

あらかじめ、①着火用の薪（焚き付け）
②細い薪　②中くらいの薪　③太い薪
を用意しておくと便利です。

薪は、細いほうが火が付きやすく、火力も強くなります。逆に太い薪は火が付きにくく、火力も弱めですが、火が長持ちします。

- 着火用の薪（焚き付け）
  太さは1.5㎝位（親指くらい）まで。
  使用済み割りばしでもOKです。
  少なくとも一握り分用意すると、スムーズに着火できます。
  半分に折り、ギザギザを作ると、特に着火しやすくなります。
- 細い薪
  太さ2㎝～3㎝位。
  着火後、炎を安定させる時や、強火で調理したいときに使います。
- 中くらいの薪
  太さ4㎝～5㎝位。
  中火で調理したい時などに使います。
- 太い薪
  太さ5㎝以上の薪
  とろ火で調理したい時や、保温をしたい時などに使います。

マッチ等で着火する場合

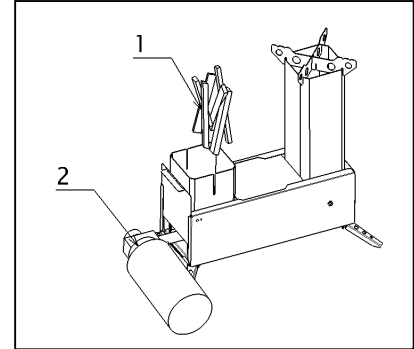
①焚き口の中に、炊き付け用の乾燥した、燃えやすい燃料を入れて下さい。
②マッチ等で焚き付け用の燃料に火をつけます。

ワンポイント！

マッチで着火する場合は、固形の着火剤を使うと、簡単に着火できます。

① 火をつけた着火剤を煙突から中に入れて下さい。
② 1分ほど待ちます。
③ もう一つ着火剤に火をつけ、焚き口から中に入れて下さい。
④ 焚き口に焚き付け用の燃料を入れて下さい。

バーナーで着火する場合

①焚き口の中に、炊き付け用の乾燥した、燃えやすい燃料を入れて下さい。
②焚き口側の横蓋を少し持ち上げ、バーナーの先を差込んで着火して下さい。

⚠ バーナーが上を向くと焚き口から炎が噴き出し大変危険です。バーナーは下向きにしっかりと保持し、焚き口から体を離してください。

⚠ バーナーの使用中は焚き口を覗かないで下さい。

③燃料に火がついたら、バーナーを抜き、横蓋を閉めます。

燃焼維持の方法

① うまく着火したら、徐々に大きな燃料を追加して下さい。
② 着火後、煙突の方向に炎が流れていない場合は、煙突側の脚を持ち上げるか、焚き口から息を吹くなどして、煙突側への気流を発生させて下さい。
③ 追加の燃料は焚き口の上から追加して下さい。

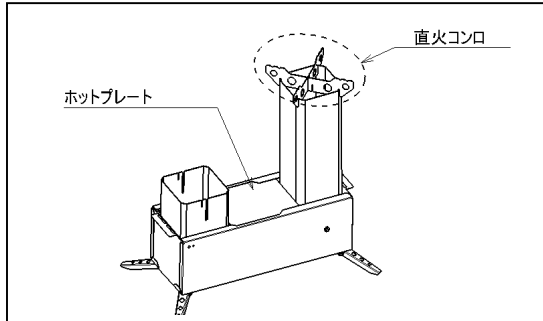
⚠ 燃焼中はコンロ全体が非常に高温になります。コンロが高温の時や燃焼しているときは絶対に直接手を触れないで下さい。
消火後に余熱が残っているコンロを動かすときも同様に直接手を触れないで下さい。

⚠ 燃料は焚き口のなかに収まるようにして下さい。焚き口から燃料がはみ出していると、燃焼途中で折れ、コンロの外に落下する場合があります。

効率よく燃焼させるためには

- 高温で効率よく燃焼させるためには、焚き口に入れる燃料の間に空気の通り道となる隙間を作って下さい。
- ただし、隙間が大きすぎても、吸い込む空気の勢いが弱くなり、勢い良く燃えません。
- 可能な限り乾燥した燃料を使用して下さい。濡れたり湿ったりしている木や葉は使用しないで下さい。煙がたくさん出て不完全燃焼を起こします。

調理

① 煙突の上は直火コンロとして、上蓋の上はホットプレートとして使用できます。
② 煙突の上で調理をする際は、無理な力がかからないよう、
また、煙突上の鍋などに不意に接触しないようにして下さい。

⚠ 耐加重を超えた調理器具を使用しないで下さい。
煙突上：10kg まで
ホットプレート：5kg まで
煙突・ホットプレート合計：13kg まで

⚠ 鍋を動かす際は、鍋や中身が熱くなっているため、十分注意して下さい。
⚠ 鍋を煙突上に置くとなべ底から炎がはみ出してくることがあります。やけどをしないよう十分注意して下さい

消火方法

① 灰になるまで燃料を全焼させ、冷ました灰を地面に掘った穴に入れて下さい。灰を出す際は焚き口側の横蓋を開くと簡単に出せます。
⚠ 横蓋が熱い場合がありますので、やけどしないよう十分注意して下さい

② 火がくすぶっている場合がありますので、必ず炭の上に水を注いで完全に消火してから土をかぶせて下さい。
⚠ コンロを保護するために、コンロには絶対水をかけないで下さい。

⚠ 灰を捨てるときは、水をかけて必ず完全に消火したことを確認してから土をかけて、埋めて下さい。完全に消火されていないと引火して火事の原因となり大変危険です。

メンテナンス

① 灰を取り除き、必要に応じてナイロンブラシなどでこすり洗いして下さい。

保管

① 本製品は風通しの良い、涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
② 子供の手のとどかないところに保管して下さい。

ー　仕様　ー

材質：ステンレス
本体重量：5.3kg
寸法：使用時　長さ 560㎜×幅 310㎜×高さ 500㎜
　　　収納時　長さ 450㎜×幅 160㎜×高さ 150㎜
耐荷重　　煙突上：10kg
　　　　　ホットプレート：5kg
　　　　　煙突・ホットプレート合計：13kg

保証規定

保証期間内に、正常な使用状態において、万一故障・異常が発生した場合は、無料で修理または、修理が困難であれば交換いたします。

次の項目に該当する場合は、本保証書規定の対象外になり、有料の修理または交換となります。

1. 本保証書の提示がない場合
2. 本保証書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 不当な改造や修理による故障または破損
4. 取扱上の不注意、ご使用による故障または破損
5. お買い上げ後の移動、落下あるいは輸送による故障または破損
6. 使用中に生じたキズ、破損による外観の変化
7. 火災、地震、水害その他天災事変による故障または破損

本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
保証書に関して取得する個人情報につきましては、保証目的以外に使用いたしません。

保証書

お客様へ
本書は、販売元であるエスアール総研が本書記載の保証規定の定めに従って無料修理または修理が困難であれば交換をお約束するものです。
お買い上げ日から１年以内に万一、正常な使用状態において、故障・異常が発生した場合は、本商品と本書をお買い上げの販売店にご持参下さい。

販売店様へ
本保証書にご販売店印とご購入日の日付を記載の上、お客様にお渡しください。

販売店 お買い上げ日　　　　　年　　　月　　　日

販売元
エスアール総研　（もりもと技術研究所　事業部）
本社　〒674-0057　兵庫県明石市大久保町高丘 2-12-5